

# と き 時空をこえて 貴重書の世界

かいさん そうがくがくぶ ぼくおうせいちゅうろく せいちゅうろくず  
『会纂宋岳鄂武穆王精忠録 精忠録圖』存1巻

朝鮮半島で創られた写本・刊本は朝鮮本または韓書と呼ばれ、書誌学上は高麗時代、李朝時代の本を明確に分けてそれぞれ高麗本、朝鮮本と呼んでいます。本館で所蔵している朝鮮本は、46部、262冊です。伊達文庫39部、養賢堂文庫5部、他2部で、そのほとんどが伊達家旧蔵書です。

本書は南宋の武将、岳飛の英雄伝に基づいた精巧な絵本です。朝鮮万暦13年（1585）、本文は校書館癸酉字銅活字を用いて、絵図は整版で印刷されています。これは明の弘治14年（1501）刊の中国書からの翻刻といわれていますが、原本が佚亡した今、極めて良好で忠実な姿をとどめるものとして、高く評価されています。



『会纂宋岳鄂武穆王精忠録 精忠録圖』

本書は平成16年6月29日に宮城県指定有形文化財（書跡・典籍）に指定されました。

## わたしのこの一冊 My Favorite Book

### 『あとに残された人へ1000の風』

南風 椎 訳 三五館 1995年

#### 『出会えてよかった一冊の本』

矢本町 菅原 弘子

人生には出会いの数だけ別れがあります。相手が、自分にとってかけがえのない存在であればあるほど、その別れはつらく悲しく……。もしそれが、永遠の別れになってしまったとき、人はどのようにしてその悲しみや喪失感を乗り越えていけるのでしょうか。自分の周りの誰かがその悲しみの中にいるとき、どんな言葉をかければいいのか。

この本に出会った時、その悲しみは「さわやかな風」になりました。「わたしの墓石の前に立って涙を流さないで下さい。私はそこにはいません。私は風になり陽の光になり雨になってあなたの胸に永遠に残ります・・・」詩に綴られた言葉たちは、美しい風景写真と共に私たちの心の中に響いてきます。

一私にとってかけがえのない人が、こんなふうに私に語りかけているのだとしたら、その人がそばにいて、こんなふうに私のことを見守っていてくれるのだとしたら、淋しくても、つらいことがあっても、私は強く生きていけそうな気がする、そして私もいつか別れを告げるとき、あとに残された人にこんな言葉を残していきたい—この詩に出会えてほんとうによかった。作者不明のまま語り継がれてきたこの詩は、時を越え、国境を越え、今、多くの人々の心を癒し、生きる力を与えてくれているのだと思います。

## 図書館からのお知らせ

### ●ポルファボール地球人講座（国際交流出前講座）

県内在住の外国人（留学生等）を講師に、県内の小中学校や公民館などに出向き、国際交流を行います。

＜期 間＞ 平成16年6月～12月

＜問い合わせ＞ 生涯学習班 Tel 022-377-8498 Fax 022-377-8484

### ●生涯学習推進月間

県民の皆様の生涯学習に対する関心を高めるために、10月の1か月間様々な生涯学習の講演、イベントを行います。詳しい内容につきましては、ポスター、チラシをご覧ください。（9月に掲示予定）

＜期 間＞ 平成16年10月2日（土）～10月31日（日）

＜問い合わせ＞ 生涯学習班 Tel 022-377-8498 Fax 022-377-8484

## ことばのうみ

題字 作家・高田 宏氏

本誌タイトル『ことばのうみ』は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海（げんかい）』（1889～1891年刊行）に由来する。

第16号 2004年7月発行

編集・発行 宮城県図書館

〒981-3205 仙台市泉区紫山一丁目1番地1  
TEL 022-377-8441（代表）FAX 022-377-8484  
ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/library/>

デザイン/印刷 株式会社共同印刷



### 表紙エッセイ/石森広美さん

いしもり ひろみ。英語教師。仙台市生まれ。筑波大学人文学類卒業。国際理解教育に力を注ぎ、県内各地に講師として呼ばれている。シンガポール国立大学で中国語を学びながら、三年間アジア各国の人に日本語を教えた経験を持つ。著書は、「ラテンアメリカを一緒に」に「旅、ちょっとセンチメンタル」（ともに東洋出版）。

趣味・特技は、南米音楽演奏、国際交流、旅行、語学など。